

平成 23 年度事業事業報告書

公益財団法人 小野医学研究財団

当財団は昭和63年11月21日に厚生大臣の認可を受け設立し、平成23年3月28日付、内閣府より設立の認可を受けて(設立登記日：平成23年4月1日)、公益財団法人へ移行し、定款に定められた事業を開始した。

平成23年4月1日より平成24年3月31日までの平成23年度の事業活動として、定款第3条の脂質代謝異常の分野に関する研究助成を行うほか各種事業を推進し、この分野の治療、研究の振興を図り、もって国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とした第4条の事業のうち、下記の事業を実施した。

平成23年度事業

平成22年11月24日に開催された第59回 理事会・評議員会において、平成23年度の事業が決定され、その事業計画に基づき次の通り実施された。

1. 研究助成事業

研究助成及び研究奨励助成(平成23年6月1日現在満40歳以下の研究者)については、全国の医学系の大学・研究機関188施設及び当財団役員に推薦を依頼し、また募集要項を財団ホームページに掲載。広く募集を行うために羊土社のホームページ及び実験医学6月発刊号、日本動脈硬化学会学会誌 News & Scope6月発刊号、日本生化学会誌6月発刊号、日本細胞生物学会、日本分子生物学会、JST 広報ポータル部サイエンスポータルのホームページに掲載して、候補者の受付を行った。応募課題については、本財団の選考委員会において審査した後、理事会で決定、承認を受け、評議員会の了承を得て助成者を決定した。

12月22日ニュースリリースするとともに当財団ホームページに掲載。

(助成者は別掲の通り)

- (1) 第24回研究助成 応募者数54件、助成者数 7件、採択率約13.0%
- (2) 第20回研究奨励助成 応募者数56件、助成者数 10件、採択率約17.9%

なお採用率は財団に到着した応募数で計算されているが、各推薦資格保持者のところに応募があったかは不明である。

2. 講演事業

平成23年6月4日、千里ライフサイエンスセンターにおいて、第22回(平成21年度助成者)研究成果発表会を開催した。研究成果発表会は、研究助成者7名、研究奨励助成者10名のPCによる発表及び平成22年度助成対象者報告を行った。医学関係施設及び研究者にポスターを配布し、参加者を募集し100名が参加した。

場 所 千里ライフサイエンスセンター 5階 サイエンスホール

日 時 平成23年6月4日(土) 12時20分～17時00分

3. 研究成果概要のデータベースへの登録

平成 21 年度助成成果報告を成果助成財団センターを通じて国立情報学研究所のデータベースへ 7 月に登録し公開した。（当財団ホームページからも閲覧可能）

4. 平成23年度研究助成対象者及び研究奨励助成対象者のお知らせ

第 24 回（平成 23 年度）研究助成対象者

助成額：1 件につき 200 万円（五十音順）（敬称略）

氏名	役職	施設名 科名	課題名
あおき じゅんけん 青木 淳賢	教授	東北大学大学院 薬学研究科 分子細胞生化学分野	2-アシル型リゾリン脂質の生体内機能の解明
おかざき やすし 岡崎 康司	所長 教授	埼玉医科大学 ゲノム医学研究センター ゲノム科学部門	ペルオキシソーム局在プロテアーゼ Tysnd1 が脳の脂質代謝に与える影響
かめい やすとみ 亀井 康富	特任 教授	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 臓器代謝ネットワーク研究部門	肝臓脂肪蓄積における DNA メチル化制御
さかね ふみお 坂根 郁夫	教授	千葉大学大学院 理学研究科 基盤理学専攻化学コース 生体機能化学研究室	イノシトールリン脂質代謝回転とは独立して多彩な細胞内シグナルを伝達する新規ジアシルグリセロール代謝経路の探索・同定とその機能
しもざわ のぶゆき 下澤 伸行	教授	岐阜大学 生命科学総合研究支援センター ゲノム研究分野 (併) 医学部附属病院小児科	極長鎖脂肪酸代謝異常症の病態解明と治療法の開発
なかやま かずひさ 中山 和久	教授	京都大学大学院 薬学研究科 生体情報制御学分野	小胞輸送による脂肪滴形成とオートファジーの協調的調節
やはぎ なおや 矢作 直也	准教授	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 内分泌代謝・糖尿病内科	中性脂肪合成系の転写調節カスケードの解明

第 20 回（平成 23 年度）研究奨励助成対象者

助成額：1 件につき 100 万円

（五十音順）（敬称略）

氏 名	役 職	施 設 名 科 名	課 題 名
いずみや 泉家 やすひろ 康宏	助教	熊本大学大学院 生命科学研究部 循環器病態学	骨格筋より分泌される代謝調節因子による脂質代謝異常の新規治療戦略
いとう 伊藤 みちこ 美智子	特任 助教	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 臓器代謝ネットワーク研究部門	非アルコール性脂肪性肝炎の病態形成における臓器間相互作用の解明
うえずみ 上住 あきよし 聡芳	助教	藤田保健衛生大学 総合医科学研究所 難病治療学	骨格筋内に形成される異所性脂肪細胞の意義
おさふね 長船 けんじ 健二	准教授	京都大学 iPS 細胞研究所 増殖分化機構研究部門	遺伝性肝疾患特異的 iPS 細胞を用いた非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH) に対する新規疾患モデルの開発
かなさき 金崎 けいぞう 啓造	講師	金沢医科大学 糖尿病 内分泌内科学	メタボリック症候群・脂肪肝に対する新規治療法開発：妊娠高血圧腎症と共通の分子機構に注目して
くぼた 窪田 てつや 哲也	室長	独立行政法人 国立健康・栄養研究所 臨床栄養研究部	2 型糖尿病の肝臓における pathogenic paradox の解明 -肝臓特異的 IRS-1・IRS-2 欠損マウスを用いて-
しもむら 下村 ゆたか 裕	テニュアトラック 准教授	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 遺伝性皮膚疾患研究室	脂質伝達系の破綻により発症する遺伝性縮毛症・乏毛症の解析
すずき 鈴木 あつし 淳史	准教授	九州大学 生体防御医学研究所 器官発生再生学分野	誘導肝細胞様 (iHep) 細胞を用いた脂肪性肝疾患の新規解析法の開発
ひらやま 平山 じゅん 順	准教授	東京医科歯科大学 難治疾患研究所 発生再生生物学分野	概日リズムによる代謝制御の分子機構
まつぎか 松坂 たかし 賢	助教	筑波大学大学院 人間総合科学研究科 内分泌代謝・糖尿病内科	2 型糖尿病における脂肪酸伸長酵素 Elovl6 の役割およびその治療応用に関する研究

平成 23 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 24 年 6 月
公益財団法人 小野医学研究財団